

Client Alert

15 August 2025

本アラートに関する
お問い合わせ先：



竹中 陽輔
パートナー
03 6271 9548
Yosuke.Takenaka@bakermckenzie.com



山頭 めぐみ
アソシエイト
03 6271 9538
Megumi.Santo@bakermckenzie.com

インドネシア：DGIP、イノベーション型経済を推進するための知的財産ロードマップを発表

事件の概要

2025年6月4日、DGIP（インドネシア知的財産総局）は、ジャカルタで知的財産ロードマップを発表した。このイベントは、2025年世界知的財産の日を記念する「10年間の成果と知的財産への感謝の公開」の一環として開催された。

このロードマップは、インドネシアの国家知的財産エコシステム構築のための10年間の戦略ガイドとして機能する。インドネシア投資・開発委員会（BAPPENAS）、インドネシア知財庁（BRIN）、各省庁、大学、産業界、そして一般市民を含む関係者との共同作業によって策定された。

3つの開発フェーズは以下の通りである：

- 2025-2026年：法的基盤、国民教育、国家データシステムの強化
- 2027-2029年：地域のイノベーション・エコシステムと制度的能力を強化する
- 2030-2035年：インドネシアを地域の知的財産ハブおよび創造的経済輸出国に位置づける

6つの戦略的柱：

- 知的財産リテラシーと教育
- 登録と保護の円滑化
- 人材育成と組織開発
- 知的財産の商業化
- 知的財産サービスのデジタル化
- 国際協力

期待される効果：

- 知的財産出願の増加
- 知的財産に基づく経済価値の成長
- 中小企業や教育機関の関与の拡大

スプラットマン・アンディ・アグタス法相は、このロードマップについて、デジタル時代におけるインドネシアの発展の中心的な柱となることを目指す国家ビジョン、「アスタ・チタ 2024-2029」に沿った、戦略的なマイルストーンであると述べた。